



~~UNMANNED~~

無人駅の芸術祭 / 大井川

Unmanned Station Art Festival, OIGAWA

2022 開催報告書



NPO 法人クロスメディアしまだ www.cms.or.jp
島田市日之出町 4-1-1F(C-BASE) TEL0547-39-3666

| 事業報告 | 目次 |

| | |
|-----------------|-----|
| 01 概況 | …3 |
| 02 開催概要 | …5 |
| 03 メインビジュアル | …6 |
| 04 アーティスト及び作品実績 | …7 |
| 05 プレイイベント開催 | …26 |
| 06 関連イベント&プログラム | …27 |
| 07 地域との関わり | …34 |
| 08 協力団体・協力会社 | …36 |
| 09 広報 | …37 |
| 10 来場者数 | …42 |
| 別添 来場者アンケート | |

01 概況

UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川として 5 回目の開催を終えた。「大井川をことほぎ、ひらく」を大きなテーマとし、大井川鐵道の無人駅 8 エリア（日切駅、神尾駅、福用駅、抜里駅、塩郷駅、下泉駅、駿河徳山駅、青部駅）と大井川・川越し街道を舞台に、計 25 日間開催した。国内外で活躍する 15 組のアーティストが参加し、無人駅とそこから広がる集落の資源に焦点をあてた作品や、地域の人々と一体となった体験型の作品を展開したほか、市民主体で企画する文化やアートの小規模イベントプログラム「アートプラット/大井川」の連動開催など、多様な展開を行った。

未だ収束が見えないコロナ禍という状況下であったが、対策をガイドラインとして作成のうえ予防策を徹底し開催した。複数年での開催による認知度の拡大、美術手帖をはじめ多くのメディアに掲載されたこともあり、静岡県内をはじめとし、全国各地からの来場者があり、来場者数は昨年度を上回った。

アーティストの表現プランにおいては、当該エリアの様々な素材が軸となっていた。大井川、茶畑の雄大な風景など土地の持つ力を表現する作品や、地域の人々の記憶や思い出といった、開催回を重ねるごとに「集落に生きる人々」が登場する作品が多く見られた。いずれも「ここでしか体感することのできない」作品となった。設置場所としては、利用されなくなった旧駅舎や、空き家や空き倉庫が作品と共に蘇り開示されていった。

今期、大きな変化のあった集落として、神尾、抜里、青部の各エリアがある。神尾駅は大井川鐵道の秘境駅として知られ、集落との距離もある場所に立地している。今回、作家上野雄次が、地域課題である竹を 400 本活用し、旧駅舎を作品として生まれ変わらせた。神尾集落との関わりと協力体制が生まれ、作品を今後も残したいという要望が生まれていった。また、中心的集落である抜里エリアにおいては、多くの住民による制作協力をはじめ、複数年を通じた作家との信頼関係から自主的に作品の設置や管理を行うなど、地域団体を中心とした支援体制が構築され芸術祭運営の根幹を担っている。加えて森繁哉公演「ヌクリ里・図絵」での幕間に、集落の高齢女性たちが、自作の衣装と唄と踊りで会場に華を添えるなど、住民が自らが表現する意識が生まれてきている。青部エリアにおいては、2本残る「渡れない吊り橋」をテーマとした作品の設置にあたり、集落への聞き取りから制作の過程において多くの住民が参加した。初めて作品設置を行った駅であるが、移住者が増え始めていることもあり、芸術祭を受け入れる土台の強さを感じさせた。

当芸術祭を支える地域住民による体制や、サポーター活動は、複数年の取り組みを通じた理解と期待の高まりを感じた。集落の人々においては、アーティストの制作から滞在の支援まで快く引き受けて頂くとともに、会期中は自ら作品の見どころや良さをガイドする姿が多く見られた。芸術祭に自発的に関わる姿勢は確実に強くなっていることがうかがえるとともに、地域活性や地域再生につながる取組が着実に根付いてきている。サポーターも高校生から大学生など幅広い層の参加がみられた。

当芸術祭においては、5回の開催を通じ「無人駅エリアの風景や人の営みを開示する」という点において1つの到達点に達することができたと考える。今年度、抜里エリアが地域と芸術祭への積極的な協働の取組が評価され「ふじのくに美しく品格ある邑」知事顕彰を受賞した点からも地域再生の取り組みとして大きな成果といえる。今後は、大井川の持つ特異性と無人という意味を、アーティストや地域とともに掘り起こすとともに、大井川流域の集落から生まれ集落が動かす新しい地域芸術祭に向けて歩を進めていきたいと考える。

02 開催概要



UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川 2022

Unmanned Station Art Festival, OIGAWA 2022

会 期 2022年2月25日(金)~3月21日(月祝)
計25日間

会 場 大井川鐵道の無人駅とそこから広がる集落及び大井川・川越し街道
(静岡県島田市・川根本町)

参加作家 計15組(五十音順):ii(アイアイ)・上野雄次・形狩り衆・木村健世・小鷹拓郎・小山真徳・さとうりさ・しでかすなかまたち・杉原信幸×中村綾花・TAKAGI KAORU・夏池篤+山本直・ヒデミニシダ・森繁哉・ゆるかわふう+原正彦・カ五山(加藤力 渡辺五大 山崎真一)

主 催 NPO法人クロスメディアしまだ

支 援 アーツカウンシルしずおか

協 力 大井川鐵道株式会社、島田市、川根本町

助 成 福武財団「アートによる地域振興助成」
島田市「アートによる地域づくり推進事業」
文化庁「Arts For The Future!」(プレイベント)

公式サイト <http://unmanned.jp/>

運営事務局 UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川 運営事務局(NPO法人クロスメディアしまだ)
静岡県島田市日之出町4-1-1F(C-BASE) TEL:0547-39-3666

※支援



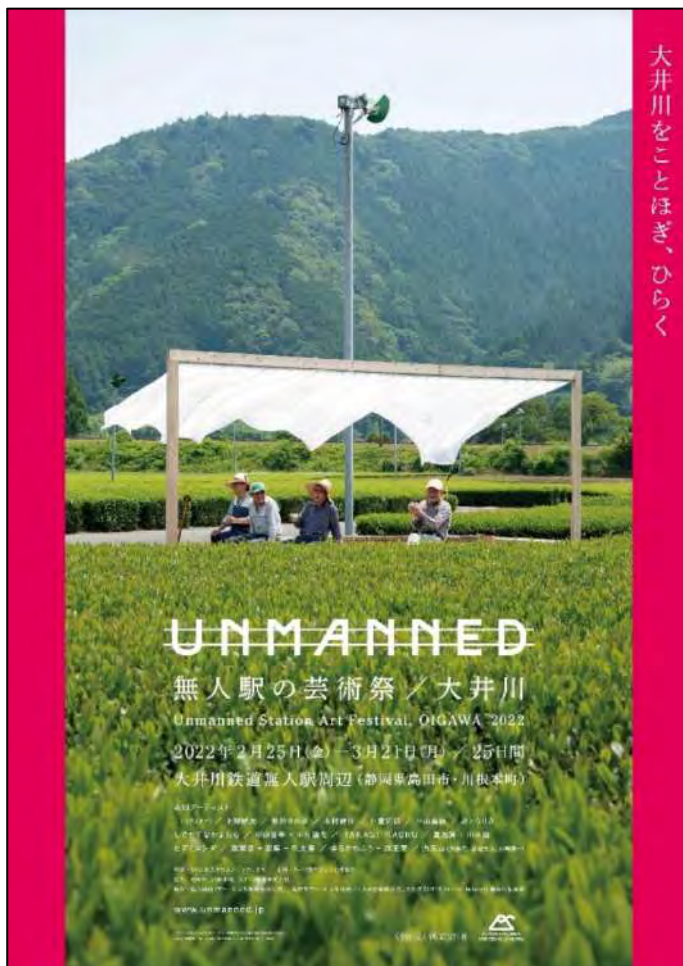
※助成



03 メインビジュアル

無人駅から広がる集落に暮らす人々とともに、アート作品をイメージさせるメインビジュアルに展開した。ポスターやパンフレットの印刷物、公式サイトなどに展開し、芸術祭の魅力伝える重要なコミュニケーションツールとなった。

メインビジュアル(ポスター)



公式ウェブサイト



04 アーティスト及び作品実績

計16組のアーティストが参加し、作品や表現の発表を行った。

| | アーティスト | 作品タイトル | 作品設置場所(エリア) |
|----|--------------|---|--|
| 1 | ii(アイアイ) | 「青部の吊橋:ふたたび渡す」 | 駅舎(青部駅) |
| 2 | 上野雄次 | 「バンブーハウス／暴走花いけ号の島田バージョン」 | 旧駅舎、ホーム(神尾駅) |
| 3 | 形狩りの衆 | 「顔の家 駿河徳山」 | 川根本町立中川根第一小学校(駿河徳山駅) |
| 4 | 木村健世 | 「無人駅文庫・下泉」 | 駅ホーム(下泉駅) |
| 5 | 小鷹拓郎 | 「インドネシア人技能実習生、河童の狩猟技術を学ぶ」 | 2/25～3/6 十番宿(川越し街道) 3/7～3/21 めくりプラザ2F(抜里駅) |
| 6 | 小山真徳 | 「島田鳶鴉屋」(しまたとびがらすや) | 仲間の宿(川越し街道) |
| 7 | さとうりさ | 「くぐりこぶち」 「地蔵まえ4(縫い合わせ)」 「地蔵まえ3(サトゴシガン)」 | しまの竹やぶ(抜里駅) 茶畑内(抜里駅) 駅舎(抜里駅) |
| 8 | しでかすなかまたち | 「くもうきはし」 | さとはちのブリキ屋(抜里駅) 抜里八幡神社(抜里駅) 及び抜里集落各所(抜里駅) |
| 9 | 杉原信幸 × 中村綾花 | 「鹿ん帽と鹿舞」 | 三津間集落・石間家(塩郷駅) |
| 10 | TAKAGI KAORU | 「日々の景色は物語でできている」 | 天野邸(抜里駅) |
| 11 | 夏池篤+山本直 | 「続々・川狩り」 (Cleaning & Reusing) | 街道内のスペース(川越し街道) |
| 12 | ヒデミニシダ | 「境界のあそびばⅢ／あそび場のマチエール」 「境界のあそびばⅡ／ちゃばらのカーテン」 | 川根茶めぐり園(抜里駅) 茶畑(抜里駅) |
| 13 | 森繁哉 | 「ヌクリ里・図絵—人々の手による、人々の芸術をつくるプロジェクト—その壱」 | 抜里集落(抜里駅) |
| 14 | ゆるかわふう+原正彦 | 「命の時間、旅の時間」 | 山岸邸(福用駅) |
| 15 | カ五山 | 「渡る願い」 | 川会所(川越し街道) 日切駅ホーム、日限地蔵尊境内、日限地蔵尊通り沿いの各所 |

アーティスト ii(アイアイ)
作品タイトル 青部の吊橋:ふたたび渡す
作品設置場所 大井川鐵道青部駅

青部地区には、渡ることのできない吊橋がある。安全上・河川法上の理由から撤去が検討されるも、住民の反対運動により見送られ、通行禁止のまま残っている。

しかし、無人の吊橋は今もなお、ゆらめきながら人々の心の中に確かに存在している。

今回、青部駅に「青部の吊橋」を出現させることで、吊橋の記憶を呼び起こし、外から来る人とを繋ぎ、青部地区の想いを次の世代にふたたび渡すための新たな橋をつくる。



アーティスト 上野雄次

作品タイトル バンブーハウス／暴走花いけ号の島田バージョン

作品設置場所 大井川鐵道神尾駅

老朽化した旧駅舎に、地域に群生する竹を積層させた覆屋を設け、お茶室のようなトリップ空間へと変容させる。入口をくぐって竹の通路を辿ると、そこには異空間が現れる。正面には神尾山の荒々しい山肌とトンネルを見渡す独特の景観を望むことができ、非日常の体験を味わうことができる。

上野野雄次のアートフェスティバルでは恒例となっている車と一体化しているオブジェ作品「暴走花いけ号島田バージョン」を制作。東京と島田を行き来し、島田の街を走る路上パフォーマンス的作品も展開する。



■パフォーマンス①「川と竹と交響アクション」

日時:3月13日(日)14:00~15:00

場所:神尾駅

料金:1000円(高校生以下無料)



■パフォーマンス②「花いけ合戦 島田大会」

日時:2月26日(土)13:30~15:30

場所:大井川川越し遺跡 荷縄屋 料金:無料



■臨時開催「花いけ合戦 抜里大会」

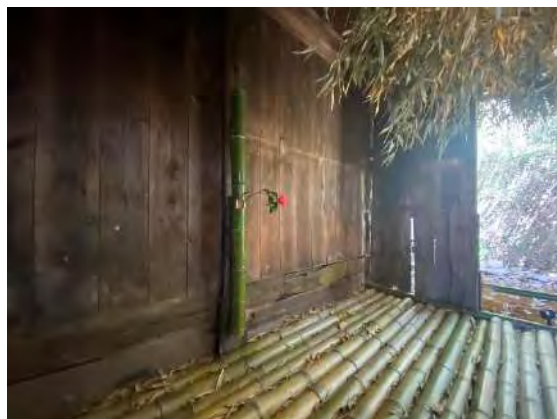
日時:3月15日(火)13:00~15:00 場所:島田市川根町 抜里防災センター



■パフォーマンス③「バンブーハウスの花いけパフォーマンス」

日時:2月27日(日)、3月13日(日)、3月20日(日)

①10:40~②11:40~③12:20~④13:10~⑤14:00~(3/13は⑤なし)



関連企画「ザ・みどり探偵団～神さまと巣籠り～」

2月27日(日)、3月13日(日)、3月20日(日)

いずれの日も、1日4回開催(各回5席、限定25食)

①10:40~②11:40~③12:20~④13:10~⑤14:00~(3/13は⑤なし)



アーティスト 形狩り衆

作品タイトル 顔の家 駿河徳山

作品設置場所 川根本町立中川根第一小学校(駿河徳山エリア)

「顔の家」プロジェクトは川根本町を中心に展開し3年目。10代から80代まで様々な人々と交流を深めた。今回は、子どもたちの記憶を通じて「顔の家」を未来に残すことを目指す。変化する子どもの顔かたちを手元に残したいというおかあさんの声に応え、1年後に統廃合が予定される小学校と協働し児童や先生が集う学校の中心に「顔の家」を出現させる。



■イベント:形狩り衆「公開マスクお渡し&トークライブ」

開催日:3月13日(日) 開催場所:中川根第一小学校

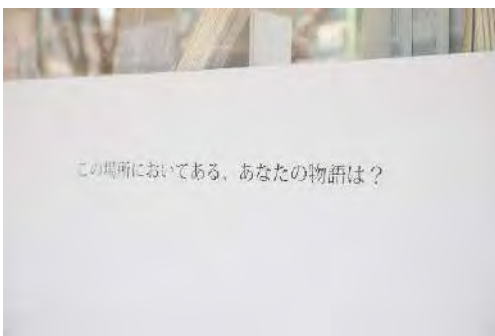


アーティスト 木村健世

作品タイトル 無人駅文庫 下泉

作品設置場所 大井川鐵道下泉駅

下泉駅にまつわる記憶、思い出、できごと。一見なにもない無人駅には、その周辺に住む人たちの人生や暮らしの足跡が積層している。目には見えないけれど。インタビューによって集められた「駅の記憶」それぞれを一編の小説として捉え、そのあらすじを記した「無人駅文庫 文庫目録」を駅のホームに置く。そのページをめくるときに浮かび上がり、再生されるシーンはあなたに、どんな駅の風景を見せてくれるだろうか。

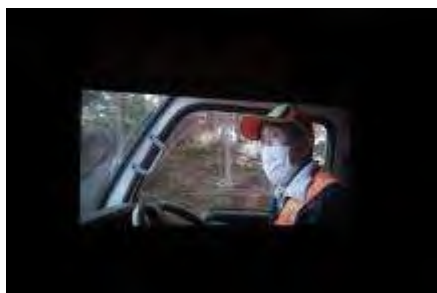


アーティスト 小鷹拓郎

作品タイトル インドネシア人技能実習生、河童の狩猟技術を学ぶ

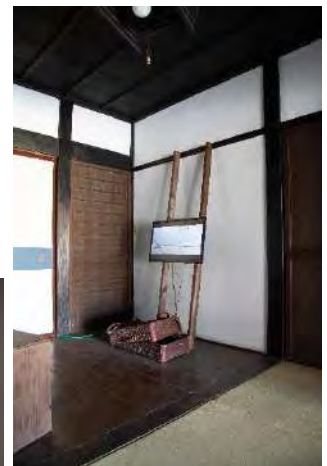
作品設置場所 2/25~3/6 十番宿(川越し街道エリア)、3/7~3/21 ぬくりプラザ(インフォメーションセンター)

静岡県内で暮らすインドネシア人技能実習生が、猟友会や笹間神楽保存会の人々と共にコロナ特効薬「河童」の狩猟を試みるモキュメンタリー映画。ユーモラスで人間味あふれる高齢化社会、外国人技能実習生制度の問題、コロナの影響を受ける地域社会などが描き出される。第16回ジョグジャ・ネットパック・アジア国際映画祭 2021 正式招待作品(インドネシア)2021年/6K/25分/フルカラー



アーティスト 小山真徳
作品タイトル 島田鳶鴉屋(しまだとびがらすや)
作品設置場所 川越し街道 仲間の宿

江戸時代、大井川は幕府によって架橋を認められず、川越人足によって旅人は対岸へ運ばれた。大井川が増水し川止めされると兩岸の藤枝、島田、金谷、日坂には旅人が滞留し、宿場は宿場は大変な賑わいだった。懸命に水流の中を往復した川越し人足たちは、まるで川底を這う沢蟹のようであり、大井川を挟んだ東海道を行き交う旅人は、河原の上空で孤独に弧を描くトンビか、群れをなして飛び惑うカラスのようである。作家はかつてそこにあったかもしれない想像上の旅籠を制作する。



アーティスト さとうりさ
作品タイトル くぐりこぶち

作品設置場所 しまの竹やぶ(抜里駅エリア)

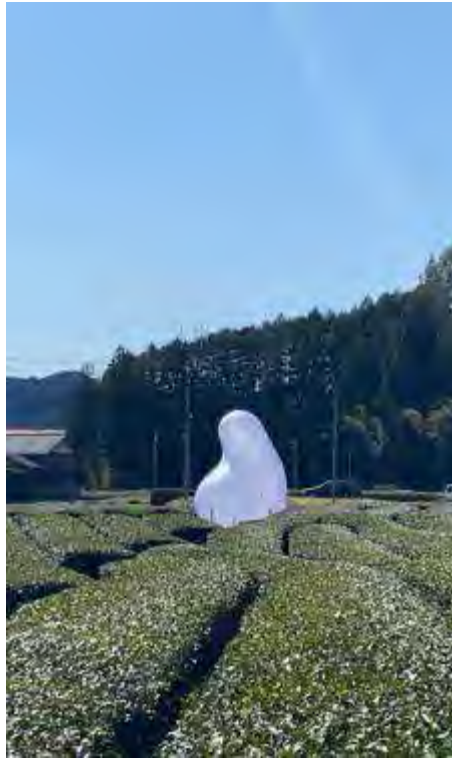
現在では禁止となっている野鳥を獲るための罠「こぶち」を、生き物たちのエネルギーが交差していた場所として捉え、やぶのなかにインスタレーションを制作。「くぐりこぶち」を通り抜けたとき、ほんの少し世界が変わって見えるかもしれません。



アーティスト さとうりさ

作品タイトル 地蔵まえ4 縫い合わせ

作品設置場所 抜里の茶畑の中(抜里駅エリア) 協力:抜里エコポリス



アーティスト さとうりさ

作品タイトル 地蔵まえ3 サトゴシガン

作品設置場所 大井川鐵道 抜里駅舎内



アーティスト しでかすなかまたち

作品タイトル くもうきはし

作品設置場所 さとはちのブリキ屋、抜里八幡神社、抜里エリア内各所

過疎化による地域の維持という大きな課題に直面する場所で生き生きと生きる人々。その人々に光を当て、それを見守るように長い年月在り続ける抜里八幡神社の神様のきぐるみ(タカカミサマ)を制作。

タカカミサマが里に降り人々と過ごす不思議な1日を写真を介してあらかず。地域を散策しながらタカカミサマと人々の交流の記録をたどり、最後はさとはちのブリキ屋に現れた祠でタカカミサマを感じていただきたい。



アーティスト 杉原信幸×中村綾花

作品タイトル 鹿ん帽と鹿舞

作品設置場所 三津間集落・石間家(塩郷駅エリア)

川根本町の徳山には鹿の顔の帽子を被って舞う鹿ん舞がある。川根本町の狩猟会の協力を仰ぎ、鹿の毛皮を鞣し、鹿の毛皮の帽子と、鹿皮の衣装を制作。空間には集めた古い着物を張りめぐらせ、祭りの舞台のような空間を作る。会期中には鹿の繁殖期の鳴き声の音源に合わせ即興の鹿舞を行い、古代の鹿ん舞の記憶を呼び覚ます。



■パフォーマンス「鹿舞」

川根本町徳山に伝わる「鹿ん舞」の太古の姿をイメージした鹿の帽子と衣装を纏い杉原信幸が舞います。

開催日:2月27日(日)14:00~



アーティスト TAKAGI KAORU

作品タイトル 「日々の景色は物語でできている」

作品設置場所 天野邸(抜里駅エリア)

私達が日々見ている風景には、多様な物語が潜んでいる。実際には数多の物語が目の前で起きてはいても、そのことに気づかず素通りしてしまうことが多い。しかし、自身のここまで歩んできた道のりを思い描くように目の前にある景色を見てやれば、それは一瞬にして小説よりもはるかに面白い物語となって、私達をあらゆる世界にいざなってくれる。このように世界を媒介してくれるものを作家は「内なる器」と呼んでいる。

作品の会場は、抜里集落のかつて左官屋を営んでいたお宅。大井川の中流に位置し、近景には茶畑と家、そしてさまざまな生業の加工場。そして遠景には雄大な山々がみえる。この場所とその住人にどんな物語があったのかを私は想像する。時が止まったかのような空間に、粘土、水引を使った造形作品を配置し、そこに潜んでいる物語を描く。ここを訪れる方にも、この場所に流れる時間や作品を手掛かりに、自身の「内なる器」を見出し、それぞれの物語を描いてもらいたい。



■ワークショップ「大井川に橋は架けられるのか」

開催日: 3月20(日)13:00~16:00 対象: 5歳から高校生 協力: 抜里エコポリス



アーティスト 夏池篤+山本直

作品タイトル 続々・川狩り

作品設置場所 川越し街道内のスペース(川越し街道エリア)

2019年無人駅の芸術祭で発表した「続・川狩り」(筏流し)は、大井川上流で伐採された材木が島田の向谷等まで河川により運搬されるプロセスを追体験する作品。今回は流れ着いた材木を陸揚げし、建物に変えていくプロセスを作品化するもの。大井川に散乱する流木で新たな川会所を制作。中には流木による蓮台越し・渡舟・お茶をたてる様をイメージしたオブジェを配する。



アーティスト ヒデミニシダ

作品タイトル 境界のあそびばⅢ／あそび場のマチエール

作品設置場所 川根茶めぐり園(抜里駅エリア)

これまで作家が探索し続けてきた島田市、大井川流域の様々な土地で見つけた美しい表層のマチエール(細かな質感)を、デジタルプロッタージュの手法を用いまじまじと眺める試み。プロッタージュで用いる墨や鉛筆をデジタルスキャナーに置き換え、スキャナーが持つ光学特製を操作し、現場空間の光環境を含め対象物の表層の質感を対面で写しとり展示する。



アーティスト ヒデミニシダ

作品タイトル 境界のあそびばⅡ／ちゃばらのカーテン

作品設置場所 抜里の茶畑の中(抜里駅エリア)



アーティスト 森繁哉

作品タイトル ヌクリ里・図絵—人々の手による、人々の芸術をつくるプロジェクト—その言

作品設置場所 抜里集落(抜里駅エリア)

集落の風土や生活様式から生み出されるさまざまな行動・思考というものを、土地の物語を綴ることによって芸術という果実に転化することができないだろうか。

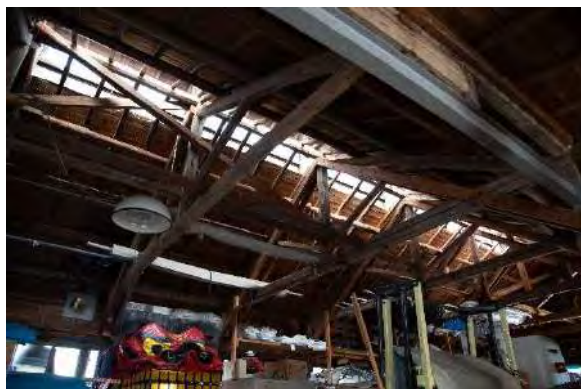
民族・歴史の研究者による土地の調査と連携し、抜里地区に住まう人々の手による芸術「田楽舞踊(抜里歌舞伎)」の創作プロジェクトを立ち上げる。それは、舞とお囃子による抜里の物語、「抜里風土記・図絵」である。

今年度は、創作第1弾として抜里集落の「駅」「茶畑」「裏山」「家の庭(作業場)」などの拠点で、森繁哉がダンスを通して、抜里の人々の生活や民話を模写していく。



■ イベント<関連企画「歩き 読み 知る 抜里版風土記」>

開催日:3月21日(月祝)15:00~17:00



アーティスト ゆるかわふう+原正彦

作品タイトル 命の時間、旅の時間

作品設置場所 山岸邸（福用駅エリア）

私たちは毎日トイレトーパーを消費して生活している。排泄は生きることの根源的な行為のひとつ。一生涯で消費するペーパーの総延長は、人それぞれ予め決まっているといえるのではないだろうか。トイレトーパーは、いわば「命の時間」。一方で、鉄道には多くの乗客が経験した「旅の時間」が折り重なる。駅舎内にペーパーを任意に垂らして白い空間を作る。「命の時間」と「旅の時間」をトイレトーパーに託し、人がいなくなることから生まれる新しい風景を提案。



アーティスト カ五山

作品タイトル 渡る願い

作品設置場所 川会所(川越し街道エリア)、日切駅～日限地蔵尊(日切駅エリア)

大井川の駿河と遠州で同時に展示。川越し街道における「渡る願い」の展示(駿河側)とともに日切駅から日限地蔵尊を結ぶ「表参道」の表示(遠州側)を行う。作家は駿河と遠州を往復しながら日限地蔵尊が地域の人々に信仰される姿に感銘を受ける。大井川橋、蓬莱橋の美しさと歴史的な重み、人々をつなぐ姿を感じる。駿河と遠州の間の「願い」を渡す姿、橋への気概、人足たちの熱気や情緒を改めて表現。川は隔たりをつくるものだが、逆に結びつきを強くするものなのかもしれない。

<川越し街道エリア>



<日切駅エリア>



05 プレイイベント『奉納神事』の開催



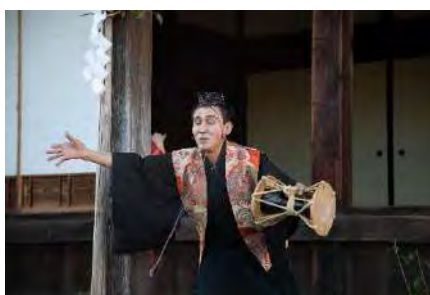
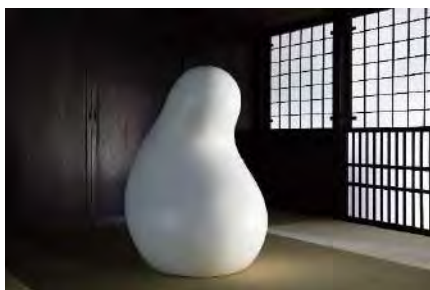
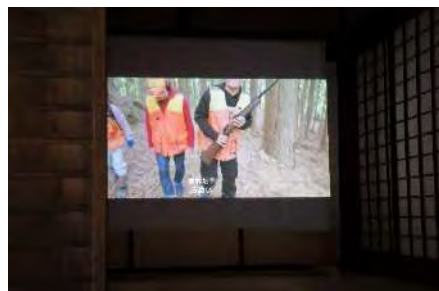
「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川」に新たなアートフィールド「大井川・川越し街道(島田市)」が登場。会期に先がけ、大井川の各所でアーティストによる滞在や作品制作が本格的にスタートするキックオフイベントを川越し街道にて開催した。

イベント会期:2021年12月25日(土)～26日(日) 作品鑑賞 10:00～16:00

会場:大井川・川越し街道(島田市)

レセプション(式典):12月25日(土)13:30～

参加アーティスト:小山真徳、小鷹拓郎、夏池篤+山本直、森繁哉+巫座+呪文座、力五山(加藤力・渡辺五大・山崎真一)



06 関連イベント&プログラム～アートプラット／大井川

今年度コロナ禍において大規模な集客イベントが開催できない中、「UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川」の開催にあわせた市民登録型の小規模イベントを集約させるプラットフォーム事業として『アート・プラット／大井川』を開催した。プログラム企画作りの伴走支援、広報や受付支援を実施することで、多くの団体や個人、店舗が参画した取り組みとなった。

アート・プラット／大井川

■ 開催趣旨

『アート・プラット／大井川』とは、街中から里山まで、お店や施設などで開催する、文化的な活動や取り組みを集めて紹介する市民登録型のプラットフォーム事業。UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川の開催期間にあわせ、大井川流域地域の、小規模文化団体の育成・支援を目的に、広報協力、事務局業務代行、企画立案から実現に向けたサポートを行うことで、市民の主体的な参画を促進し、大井川流域地域における芸術文化の振興と活力あふれる地域の実現を目指します。

■ 事業目的

1. 大井川流域地域における文化芸術の振興
2. 大井川流域地域における文化芸術の鑑賞機会の充実
3. さまざまな芸術表現の発表機会の提供
4. 大井川流域地域における集客交流人口の多様化

■ 実施プログラム(芸術祭開催)

| | プログラム名 | 日時 | 開催場所 | 企画者 | 参加者数 |
|---|----------------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------------|-------------|
| 1 | ホテルのたまごづくりワークショップ | 2/26(土) | インフォメーションセンター(ぬくりプラザ) | NPO 法人クロスメディアしまだ(ヒデミニシダ) | 30名 |
| 2 | 鹿舞 | 2/27(日) | 石間家(屋号:森下) | NPO 法人クロスメディアしまだ(杉原信幸×中村綾花) | 60名 |
| 3 | 案内人による芸術祭オフィシャルツアー | ①3/5(土) ②3/12(土) | ①川越し街道・川会所 ②大井川鐵道抜里駅 | NPO 法人クロスメディアしまだ | ①5名 ②20名 |
| 4 | 公開マスクお渡し&トークライブ | 3/13(日) | 中川根第一小学校 | NPO 法人クロスメディアしまだ(形狩りの衆) | 30名 |
| 5 | 大井川に橋は架けられるのか | 3/20(日) | 抜里エリア 大井川河川敷 | NPO 法人クロスメディアしまだ(TAKAGI KAORU) | 50名 |
| 6 | 「土地巡り 陽だまりの劇」 一森繁哉ダンス劇場 | 3/21(月・祝) | 抜里駅 | NPO 法人クロスメディアしまだ(森繁哉) | 120名 |
| 7 | ▽関連企画 「歩き 読み 知る 抜里版風土記」 | 3/21(月・祝) | 抜里駅 | NPO 法人クロスメディアしまだ(森繁哉) | 20名 |
| 8 | 地藏まえ4(縫い合わせ) | 会期中のお天気の良い | 抜里駅エリアの茶畑 | NPO 法人クロスメディアしまだ | |

| | | 日 | | (さとうりさ) | |
|----|---------------------------------|----------------------------------|-----------------|--------------------------------|----------------------|
| 9 | ①「川と竹の交響アクション」 | 3/13(日) | 神尾駅 | NPO 法人クロス メディアしまだ (上野雄次) | 100名 |
| 10 | ②「花いけ合戦 島田大会」 | 2/26(土) | 大井川川越し街道 荷縄屋 | NPO 法人クロス メディアしまだ (上野雄次) | 20名 |
| 11 | 「花いけ合戦 抜里大会」 | 3/15(火) | 抜里防災センター | NPO 法人クロス メディアしまだ (上野雄次) | 20名 |
| 12 | ③「バンブーハウスの花いけ パフォーマンス」 | ①2/27(日) ②3/20(日) | 神尾駅 | NPO 法人クロス メディアしまだ (上野雄次) | ①25名 ②30名 |
| 13 | ▽関連企画 「ザ・みどり探偵団～神さまと 巢籠り」 | ①2/27(日) ②3/13(日) ③3/20(日) | 神尾駅 | NPO 法人クロス メディアしまだ (上野雄次) | ①25名 ②20名 ③25名 |

■実施プログラム(企画者開催)

| | プログラム名 | 日程 | 開催場所 | 企画者 | 定員数 |
|----|---|------------------------------|--|--------------------------------------|------------|
| 1 | DIY ラテアート | 3/6(日) | インフォメーションセ ンター(ぬくりプラザ) | JUN 喫茶 青木淳一 | 20名 |
| 2 | ゴム印を使ってオリジナルお茶 柄手ぬぐいを作ろう | ①3/4(金) ②3/5(土) | ①3/4(金)熊のや ②3/5(土)夢づくり 会館 | 恋衣洋裁倶楽 部 渡邊美和 | ①6名 ②8名 |
| 3 | 川根本町の美味しい郷土料理 「大根そば」を食べよう! | 主に日曜 (要予約) | 恋がね茶屋 | くのわき大根そ ば研究会 | |
| 4 | 白岩寺山公園ハイキングツア ー | 3/12(土) | 白岩寺 | 杉村十三夫 | 10名 |
| 5 | はじめてのヨガ | ①2/26(土) ②3/8(火) | SAE YOGA スタジオ | SAE YOGA 水谷小枝 | ①6名 ②6名 |
| 6 | 「ママをやめてもいいです か!？」上映会 | 3/4(金)、 3/5(土)、 3/6(日) | ぴ〜ファイブ音楽広 場 | 島田市子育て 支援ネットワー ク | |
| 7 | 本の交換会～ブックピクニック ～ | ①2/26(土) (中止) ②3/13(日) | 川越し街道 荷縄屋 | クウソウレストラ ン ルリユール | ②6名 |
| 8 | 大村屋酒造場による日本酒講 座 | 3/12(土) (延期)→ 3/26(土) | 大村屋酒造場 | 大村屋酒造場 | 10名 |
| 9 | 和太鼓を体感してみよう! | 毎週月曜日 | 初倉井口公会堂 | さんろく太鼓 | 10名×3日 |
| 10 | 踊る! 弾む! 母部のダンス会 | 3/10(木) | 島田市総合スポーツ センター ローズアリ ーナ 軽体操室 | 踊る! 弾む! 母 部 | 8名 |
| 11 | Another Shot(アナザーショット) | 2/25(金)～ 3/21(月・ 祝) | 島田駅前サンカク公 園 | L.cat coffee 紅林奈保美 | |
| 12 | アロマの原料のある場所に行 ってみよう! アロマ蒸留体験& アロマクラフト作り | 2/26(土) | シリポック養蜂園店 舗横 | 銀の山 希代智 子 | 8名 |
| 13 | Natural Life Market | 2/27(日) | 島田市 おび通り南 側 | Natural Life Market 実行委 員会(杉本) | |
| 14 | モノもキモチも次のママへ。 ママバトンで物々交換♪ | 2/27(日) | 島田市 おび通り南 側(Natural Life Market 内) | 藤枝おやこ劇場 大手理瑛 | |

| | | | | | |
|----|---|---|--------------------------------------|----------------------------|--------------|
| 15 | 島田市立図書館でアート特集！ | 2/25(金)～ 3/21(月) | 島田図書館 金谷図書館 かわね図書館 | 島田市立図書館 | |
| 16 | かわね伝統芸能フェスティバル～継承～ | 3/19(土) | 川根本町文化会館 | 川根本町教育委員会社会教育課 川根本町文化会館 | |
| 17 | ささやき窯 | 教室開講日に事前予約 | ささやき窯 | ささやき窯 村松博義 | |
| 18 | ハギレと筆文字であったかいポストカードを作ろう | 3/13(日) | KADODE OOIGAWA (島ママ Dream マーケット内) | et.rie 大手理瑛 | |
| 19 | きものを着て島田を歩こう！ | 営業日 (月曜定休) | しまだきものさんぽの店 | しまだきものさんぽ 小澤京子 | |
| 20 | ギャラリー六合古典ラジオミニミニ博物館見学 | 常時 | 古典ラジオ ミニミニ博物館 | 牧田良秋 | |
| 21 | アートフォカッチャ講座 | 3/13(日) | しまだ楽習センター | 秋田美八子 | 8組(16名) |
| 22 | 『糸』を歌おう！ | 3/21(月祝) (中止) | しまだ楽習センター | 秋田陽那 | |
| 23 | 大人のためのバレエレッスン | ①3/1(火) ②3/22(火) | しまだ楽習センター | しまだ楽習センター | ①25名 ②25名 |
| 24 | Dance!Dance!!Dance!!! | ①3/12(土) ②3/19(土) | しまだ楽習センター | しまだ楽習センター | ①25名 ②25名 |
| 25 | 機織り体験(裂織) | 毎月15日間開催(詳細は博物館HP) | 島田市川越し街道 札場 | 島田市博物館 機織り:内藤雅巳 | 8名×13日 |
| 26 | 第87回企画展「プラモエキスポ2022in島田」 | 12/18(土)～ 3/21(月・祝) | 島田市博物館本館 | 島田市博物館 | |
| 27 | 収蔵品展「海野光弘 大地に立つ」 | 前期: 12/4(土)～ 1/30(日) 後期: 2/5(土)～ 3/27(日) | 島田市博物館分館 | 島田市博物館 | |
| 28 | 昭和のモーターショー～かがやく昭和の名車たち～ | 2/6(日)(中止) | 島田市博物館駐車場、朝顔の松公園 | 島田市博物館 | |
| 29 | しまだあれこれ講座 Season8 ①「大井川と文化」 | 2/5(土) | しまだ楽習センター | 島田近代遺産学会 | 25名 |
| 30 | しまだあれこれ講座 Season8 ②「風景の中のアート」 | 2/19(土) | しまだ楽習センター | 島田近代遺産学会 | 25名 |
| 31 | しまだあれこれ講座 Season8 ③「山岸運送グループの歴史と社会人公式野球チーム誕生秘話」 | 2/26(土) | しまだ楽習センター | 島田近代遺産学会 | 25名 |
| 32 | しまだあれこれ講座 Season8 ④「まちの「光を観る」人をふやす挑戦」 | 3/12(土) | しまだ楽習センター | 島田近代遺産学会 | 50名 |
| 33 | しまだあれこれ講座 Season8 ⑤「海軍電波兵器/レーダーの最終形と島田実験所」 | 3/19(土) | しまだ楽習センター | 島田近代遺産学会 | 50名 |
| 34 | しまだあれこれ講座 Season8 ⑥「島田空襲を語り継ぐ～高校生の挑戦～」 | 3/26(土) | しまだ楽習センター | 島田近代遺産学会 | 50名 |

■実施プログラム紹介(抜粋／芸術祭開催)

プログラム名:ホテルのたまごづくり(企画者:NPO 法人クロスメディアしまだ)

日時:2月26日(参加者30名) 場所:インフォメーションセンター(めぐりプラザ) 参加費:無料



プログラム名:「案内人」によるオフィシャルガイドツアー (企画者:NPO 法人クロスメディアしまだ)

日時:①3月5日(川越し街道編) ②3月12日(抜里+α編)

場所:①川越し街道・川会所(参加者5名) ②大井川鐵道抜里駅(参加者20名) 参加費:無料



■実施プログラム紹介(抜粋/企画者開催)

プログラム名:Another Shot (企画者:L.cat.coffee)

日時:2/25(金)~3/21(月・祝) 場所:島田駅前サンカク公園



プログラム名:(企画者:JUN 喫茶)

日時:3/6(日)10:00~10:25、10:30~10:55 場所:インフォメーションセンター(ぬくりプラザ)

参加費:800円 定員:各回最大2名

カフェラテにミルクで描くラテアートをお気軽に体験できます。お子様でも楽しめる。コーヒーを召し上がらない方や、お子様にはチョコレートへの変更も可能です。ピンを使ってクマやトラを描いていただけます。



プログラム名:アロマの原料のある場所に行ってみよう!アロマ蒸留体験&アロマクラフト作り

(企画者:銀の山)

日時:2/26(土)10:00~12:30 場所:シリポッケ養蜂園店舗横(島田市神座 1405)

参加費:4000円 定員:8名

みかん畑に出かけてみかんの皮むき等、アロマを作る工程を一緒に体験。みかん栽培の現状や美味しさを知ってもらいながら、今までは捨てていた、みかんの皮をアロマに蒸留。そうして採れた香りの体験。その後養蜂園のみつろうとアロマを使ってアロマバームを作成します。



プログラム名:「ママをやめてもいいですか!？」上映会 (企画者:島田市子育て支援ネットワーク)

日時:3/4(金)、3/5(土)、3/6(日)①10:00~②13:00~③15:00~

場所:ぴ〜ファイブ音楽広場 参加費:500円 定員:各回 30名

子育てに悩み、つまずき、それでも子供を愛し抜く。育児に奮闘するすべてのママへ。そしてそんなママを支える全ての人へ。笑って泣ける共感度 2000%のドキュメンタリー。



プログラム名:本の交換会 ビックピクニック (企画者:クウソウレストランリユール)

日時:3/13(日)14:00~15:30 場所:川越し街道 荷縄屋 参加費:300円 定員:6名

誰が持ち寄った本か当てるゲームを交え、持ってきた本の魅力を紹介し合ひましょう。3/13のテーマ:自分が思うアートっぽい本



プログラム名:ゴム印をつかってオリジナルお茶柄手ぬぐいを作ろう (企画者:恋衣洋裁倶楽部)

日時:①3/4(金)②3/5(土)10:00~15:00(1時間ごと計6回) 場所:①熊のや②夢づくり会館・創作の部屋

参加費:手ぬぐい1本分1000円 ハーフサイズ500円 定員:各時間6~8名

お茶柄のゴム印を使って、晒手ぬぐいにスタンプして自分だけのオリジナルお茶柄手ぬぐいを作ります。



プログラム名:アートフォカッチャ講座 (企画者:秋田美八子)

日時:3/13(日)9:30~12:30 場所:しまだ楽習センター 参加費:一組 2000 円 定員:8 組

イタリアのパン「フォカッチャ」の生地の上に野菜やハーブで絵を描きます。パン生地をこねる~焼き上げるまでを体験! 作ったフォカッチャはそのままお持ち帰りいただきます。(試食無し)



プログラム名:ハギレと筆文字であたたかいポストカードを作ろう(企画者:et.rie(エトリエ))

日時:3/13(日)10:00~15:00 場所:KADODE OOIGAWA(島ママ Dream マーケット内)

てぬぐいのハギレを使ってハガキに貼り付けデザインしよう! 座右の銘やお名前、好きな言葉を味のある筆文字で描きます。オリジナルカードを作ろう♪



プログラム名:Natural Life Market (企画者:Natural Life Market 実行委員会)

日時:2/27(日)10:00~14:00 場所:島田市おび通り南側

ナチュラルな素材で作られた安心安全なものを提供しているお店が並ぶマルシェ。ここでの出会いが皆さんの身体と心と環境に優しい暮らしへのきっかけになりますように。是非お越しください。



07 地域との関わり

<ボランティアサポーターの活動>

芸術祭全体を支えるサポーターは、サポーター制度「あんまん部」と、地域住民によるサポートがある。アーティストの滞在をはじめ、作品制作へのサポートはもちろん、会期におけるアクセス案内や、作品の説明、自然発生的に行われた来訪者へのおもてなしなど、複数年の取り組みを通じ、主体的に芸術祭に関わる姿勢が生まれている。

サポーター制度「あんまん部」においては、静岡県のまん延防止等重点施策と芸術祭会期が重なってしまったため、大々的な外部募集の実施が困難であったが、公式サイトからは13名の新規サポーター登録があった。また、大学生や高校生が直接現地に赴き参加することもあり(静岡大学、静岡県立大学、常葉菊川高校、静岡文化芸術大学)今後は学生の参画しやすい形と受入態勢を強化したい。

地域住民によるサポートは5回の開催を重ねる中、年々濃密になっており、作家との信頼関係の中、単なる作品制作にとどまらない形での支援体制ができつつある。対組織で協議していくのではない、顔の見える関係値の中で様々なことを突破することができており(制作協力、土地や建物の借上げ、竹の持ち主への伐採依頼、道具等の借上げ、人の紹介等々)芸術祭運営においても多大な実践力となっている。主要なエリアである抜里エリアの地域住民たちは、今会期においては、他地域での作品制作の支援に加わったり、作品設置や次年度へ向けた作品保管など継続的な地域内での生活の中での芸術祭の運営といった仕組みが自然発生的に完成しつつあることも今期見られた大きな特徴であると言える。来場者目線からも、地域住民と話しをしたり、声をかけてもらったことを「良いこと、うれしい体験」として SNS 等にアップする様が見られ、作品だけでなく、地域住民も一体となった芸術祭という認識ができつつある。



<作品制作の広がり>

TAKAGIKAORU の作品会場となった天野邸には元々40代の発達障害の男性(ゆうやくん)が1人暮らしをしていた。相互のコミュニケーションは取りづらい男性であったが、作品制作や芸術祭会期での作家やサポーターとの関わりにより、自作の抜里エリアのマップを作成、印刷してくれたり、制作やイベントに積極的に関わるようになった。ゆうやくんの変化は集落の人も驚いた。

同じく TAKAGIKAORU「大井川に橋は架けられるのか」WS では、東京や神奈川の親子連れも多く参加した。大井川を初めて渡った人、地域住民たちと手をつないで向こう岸まで渡る光景は、コロナ禍の中忘れていた交流を取り戻せたような、コミュニケーションのある時間となった。

駿河徳山エリアでの、中川根第一小学校での形狩りの衆トークイベントでは、石原校長も参加くださり、ライフマスクの型取りや、地域とともにある小学校について、など様々なお話を聞く良い機会となった。統廃合に揺れるエリアでもあるので、今後も丁寧な関わりを持っていきたい。

神尾駅では、バンブーハウスとして生まれ変わった旧駅舎で会期中様々な催しが行われた。地元のお茶屋と古民家民泊を営む「ザ・みどり探偵団」とコラボし、作家のパフォーマンスを見ながら地域の食材を使ったお茶漬けを食すことのできるイベントを開催。連日即日完売の人気イベントとなった。作品を会期中どう活用していくか、という食・コト・人が加わる展開となった。また制作過程からの作家と抜里集落の地域住民との関係性の深まりから、当初予定になかった「花いけ合戦 in 抜里」を急遽開催した。当日は抜里地区の女性たちも多く集まり、花いけ合戦を楽しんだ。

舞踏作家であり、社会学者である森繁哉氏からは、複数年かけて「抜里歌舞伎」を立ち上げるプロジェクトの提案をいただいた。これは、抜里集落の人達が地縁血縁のつながりを軸にした組織ではない昔ながらのつながりを軸としながら、芸術祭に主体的に関わりだしていることに1つの可能性を感じてのことである。今回は、森氏と東北大衆芸能の最高峰と詠われる佐藤正一氏をお呼びした公演と第2部には、抜里集落の建物、道、地形等を研究科が調査したことの発表である「村歩き」を開催し、集落の考察を深める展開とした。作品(公演)がどう生まれていくのかを民俗と歴史の観点から紐解くことで、地域自体が浮かび上がり、そこに芸術が1つの重要な役割を担っていくことを探りながら創り上げていくプロジェクトであり、継続していく。

<インフォメーションセンターの運営>

高校生や大学生が多く参加をしてくれた。登録サポーターも多く参加があった。作品回遊施策としてスタンプラリーを導入したが、全作品を回ったコンプリート者は185名あった。



<地域との交流の先で>

コロナ感染予防対策を徹底した上で、制作中をはじめとした地域と作家の交流を行った。こういった場により作家と集落双方の相互理解が進んだり、作品の軸が固まっていくこともあった。



08 協力団体・協力会社

多くの団体や企業の支援と協力を頂き開催を行った。

(順不同・敬称略)

- ・抜里エコポリス
- ・金谷コミュニティ委員会
- ・北五和自治会
- ・抜里町内会
- ・島田土木事務所
- ・寝装寝具みやち
- ・一般社団法人エコティかわね
- ・笹間神楽保存会
- ・猟友会
- ・KM 会(くのわきみらいの会)
- ・お休み処まきや
- ・古民家一棟貸しの熊のや
- ・お茶のあおしま
- ・さよばあちゃんの休憩所
- ・(有)ぬくり園
- ・日限地藏尊
- ・片川工務店
- ・(有)落合製材所
- ・(株)駿遠商事
- ・川根本町立中川根第一小学校
- ・茶風花
- ・特殊東海エコロジー(株)
- ・新東海製紙
- ・(株)小島建材
- ・ANEI(株)
- ・富士空調(株)
- ・島田市博物館
- ・「アートプラット／大井川」プログラム参加の企業及び店舗・団体の皆さま

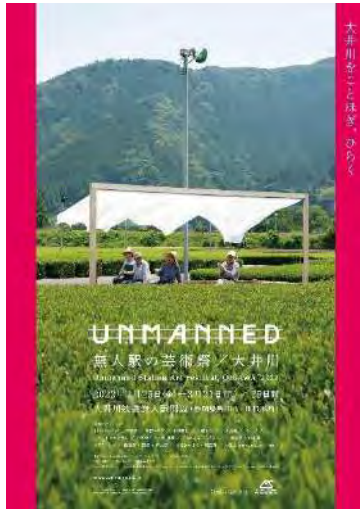
ほか多数の協力及び支援を頂いた。

09 広報

各種制作物としては、ポスター、公式パンフレットを制作した。ポスター、パンフレットは公共機関、全国の美術館に掲出及び配布を依頼した。ウェブメディアを活用するとともに、制作したPR動画は、SNSなどで放送した。その他、地域フリーペーパーを活用し開催前から進捗を伝えていく広報を行った。

| 各種制作物 |

ポスター



公式パンフレット



3月号(芸術祭特集)



2月号(アートプラット特集)



シリーズ:大井川考(大井川について住民寄稿シリーズ)

cocogane 12月号



cocogane 1月号



| ウェブメディアの活用 |

Facebook (イベントの告知や、写真や動画を用いたプロモーションなどを中心に発信した)

投稿数:68 リーチ数:6479 現在フォロワー数:953



Instagram(集落の風景の美しさや作品の魅力伝えることを重点において写真を投稿した)

投稿数:68 リーチ数:2663 現在フォロワー数:644

Twitter(Instagram に連携して投稿)

投稿数:68 現在フォロワー数:135



｜のぼり旗｜

のぼりは、駅や作品周辺などに掲出した



｜パブリシティ実績｜新聞・雑誌・広報誌｜

静岡新聞(2021年12月2日)



静岡新聞(2021年12月26日)



静岡新聞(2022年2月7日)



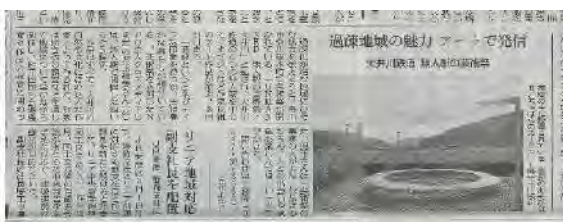
静岡新聞(2022年2月28日)



静岡新聞(2022年3月9日)



朝日新聞(2022年2月28日)



しずおか中部 5 市 2 町 GOTO



ソトコト 3 月号(星憲一朗氏コラム)



JAPAN GOV(Facebook)



Web 版 美術手帖



美術手帖 2022 年注目の国際芸術祭 6 選



朝日新聞(2022 年 3 月 31 日)



Art Collection + Design Magazine4 月号(台湾雑誌)



| パブリシティ実績 | テレビ・ラジオ・その他 |

- NHK 静岡(放送日 2 月 28 日)
- テレビ静岡(放送日 3 月 18 日)
- トコチャン/TOKAI ケーブル(放送 2 月 24 日)
- SBS ラジオ(番組出演 3 月 7 日)
- FM 島田(番組出演 3 月 4 日)
- FM 島田(番組出演 3 月 11 日)